
Ⅱ. 展開科目

1. グローバル社会領域

【科目番号：4100 番台】

1.	グローバル社会概論	[必修]	4101
2.	グローバリゼーション論		4102
3.	グローバル社会とスポーツ		4103
4.	グローバル社会における文化		4104
5.	多文化共生を考える（多文化社会論）		4105
6.	グローバル社会における人口問題		4106
7.	世界の食糧問題		4107
8.	世界の人権問題		4108
9.	地球環境論		4109
10.	持続可能な社会（サステナビリティ）		4110
11.	開発社会論		4111
12.	国際関係論		4112
13.	国際関係とボランティア		4114
14.	国際救護論		4115
15.	国際感染症		4116
16.	国際組織論		4117
17.	国際社会間の移動と健康		4118
18.	地域社会と健康		4119
19.	健康社会を築いた日本の歩み		4120

2020/07/29(水)16:04

授業科目名	グローバル社会概論	授業形態	講義
英語科目名	Introduction to a Global Society	開講学期	前期
対象学年	2	単位数	2
科目責任者	玉村 健志	ナンバリング	4101
科目担当者			
玉村 健志、大槻 茂実、佐々木 優			
授業の概要			
<p>本授業は、グローバル社会領域の導入的な授業であり、二年生の必修科目の一つである。グローバルヘルス領域や異文化コミュニケーション領域が人間個人に焦点を当てるのに対し、グローバル社会領域の学問は社会レベルを主に分析の対象とする。グローバル化は地域レベル、国家レベル、国際レベルのそれぞれにおいて様々な影響をもたらしているが、この授業ではそれらの問題を政治学、社会学、経済学など社会科学のアプローチから検討し、討議する。グローバルな諸問題を把握することで、ニュースや専門書を理解し、それらを将来的に活かすために必要な基礎知識を学ぶことを目的とする。</p>			
授業の達成目標			
<p>(1) 世界で起きていることについて、ニュースで見たり新聞で読んだりした事柄に関して自分なりの説明ができる (2) グローバル化した世界における現状と課題を理解できる (3) 自分の意見を述べられる発信力を持つ (4) 物事の見方は一つではないことを理解し、自分とは異なる意見も理解できる (5) グローバル社会領域のその他の専門科目を効果的に学習していく上での土台をつくる</p>			
成績評価方法			
<p>予習課題12%、リアクションペーパーなど復習課題41%、レポート課題47% 詳しい内訳については授業内で発表します。 いわゆる出席点はありません。単に出席しただけでは単位をとることはできないので気をつけること。 60%以上の達成で単位認定となる。必修科目のため単位認定がなされない場合は次年度に再履修となる。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<p>・授業内でディスカッションを行うこともあるので、ニュースを見たり新聞を読んだりして世界情勢について予めある程度情報を得ておくこと ・「授業の手引き」を確認し、「オンライン授業参加にあたっての約束」の承認フォームを事前に提出すること(必須)。初回の2日前までに提出した者にのみZoom授業のパスワードが送付される。 ・何よりも授業参加者(受講生、教員共に)に対して礼儀正しく振舞うこと。意見を戦わせること自体は推奨される一方で、個人の人格を貶めたり、傷つけたりすることは許容されない。</p>			
テキスト・参考書			
教科書は指定しない。各トピックに関するものは授業内で都度紹介する。			
オフィスアワー			
各教員のオフィスアワーを確認すること			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
必要に応じて課題を授業内および授業後に返却する。あるいは授業内で全体的な講評を行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	玉村 健志、大槻 茂実、佐々木 優	グローバル社会領域は何を学ぶ学問領域なのか、その意義は何か、みなさんと共に考えつつ、この講義の概要を説明する。	【予習】シラバスをよく読み、持参する。「グローバル社会」とは何を考えてくる(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行うこと(90分)
2	玉村 健志	グローバル化の功罪	【予習】グローバル化のメリットとデメリットは何か、自分なりの意見を予め考えてくること(90分) 【復習】グローバル化のメリットとデメリットについてリアクションペーパーを書く(90分)
3	玉村 健志	持続可能な発展	【予習】我々の住む世界が持続可能であるためにはどうすればよいか、自分の意見を考えてくること(90分) 【復習】持続可能な世界の構築に自分ができることについてリアクションペーパーを書く(90分)
4	玉村 健志	国際機構	【予習】国際組織はなぜ必要か(不要ならなぜ不要か)自分の意見を考えてくる(90分)

			【復習】国際組織は誰にとってどのような場面で必要か/不要か、自分の意見を書く(90分)
5	玉村 健志	NGOと多国籍企業	【予習】どのようなNGOや多国籍企業があり、どのような活動をしているか調べてくる(90分) 【復習】グローバルな社会において、非政府主体がどのような役割を果たしているのか自分なりの見方を書く(90分)
6	佐々木 優	経済のグローバル化とは？	【予習】私たちと世界とのつながりについて、普段の生活にある物やサービスをベースに調べる(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行う(90分)
7	佐々木 優	貿易の拡大と豊かな生活	【予習】私たちが消費している物やサービスが何処(国や地域)で作られているかを調べる(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行う(90分)
8	佐々木 優	企業のグローバル戦略とその功罪	【予習】日本のどのような企業が海外に進出し、ビジネスを行っているかを調べる(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行う(90分)
9	玉村 健志、大槻 茂実、佐々木 優	ゲストスピーカーによる講演	【予習】本やネットで難民やUNHCRに関する情報を収集すること(90分) 【復習】講演の内容の振り返り、また自分でも補足情報を調べ、リアクションペーパーを書く(90分) ★コロナウィルスの影響により日程や内容が変わる可能性がある。授業内およびJ-Passで案内するので気をつけること。
10	大槻 茂実	学歴社会	【予習】日本の高学歴者(短大・高専以上)比率を調べる(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
11	大槻 茂実	移民	【予習】総務省統計局にアクセスし、自分が住んでいる市区町村の外国人人口とその割合を調べる(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
12	大槻 茂実	都市の衰退と再編	【予習】人口減少時代において都市の再編はいかにして可能か、情報収集を行い自分の考えを用意しておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
13	玉村 健志	新型コロナウイルスにより休講になった分をレポート課題で替える	詳細は授業内でアナウンスします
14	佐々木 優	新型コロナウイルスにより休講になった分をレポート課題で替える	詳細は授業内でアナウンスします
15	大槻 茂実	新型コロナウイルスにより休講になった分をレポート課題で替える	詳細は授業内でアナウンスします

2020/07/29(水)13:36

授業科目名	グローバリゼーション論	授業形態	講義
英語科目名	Globalization	開講学期	前期
対象学年	3	単位数	2
科目責任者	大槻 茂実	ナンバリング	4102
科目担当者			
大槻 茂実			
授業の概要			
<p>今、このシラバスを読んでいるあなたは、「卒業後は世界で通用する個人」になりたいという願望を少なからず抱いているのではないだろうか？ そうであれば、自問してみしてほしい。そもそも、「世界で通用する」とは具体的にどのようなことを指すのか？ 答えの鍵はグローバリゼーションの理解にある。</p> <p>世界中に同時に表れているグローバリゼーションという現象を捉えることは、社会の構造的な変化を世界レベルで捉えることを意味する。例えば、19世紀から20世紀初頭にかけて市民を埋め込むことに成功した国民国家のゆらぎについての理解を深めることはその典型といえる。では、グローバリゼーションが進む世界では、国民国家の力と役割は衰えるのだろうか？</p> <p>本授業では、グローバリゼーションと結びついた様々な社会事象をとりあげ、そうした社会事象の背景にあるグローバリゼーションという大きな物語を読み解いていく。授業では実際の社会調査データを使用した分析結果などを提示しながら、ミクロな我々の日常生活とマクロなグローバリゼーションの重なりを捉えていく。したがって、グローバリゼーションというやや抽象的な概念を扱いつつも、実際のデータから実証的にその検討を重ねていくことになる。</p> <p>本授業ではグループディスカッションを行い、知識の定着を進めていく。授業全体を通して、グローバリゼーションという現在進行形の世界的な社会現象と冷静に向き合うために何が必要であるのかを考える。</p>			
授業の達成目標			
<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバリゼーションの進展の歴史的背景を知る。 2. 国民国家のゆらぎという観点から昨今の国際・国内政治を捉えられるようになる。 3. 「世界で通用する」とは具体的にどのようなことを指すのかを理解する。 			
成績評価方法			
通常課題(毎回WEBに入力する予習・復習)とレポートにより評価する。評価基準は通常課題30%、レポート60%、総合判定10%。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の資料はWEB上にアップするので、必ずアクセスして授業・課題に取り組むこと。 2. 予習・復習の記入内容等は、匿名化した上でJ-pass上にアップすることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。 3. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウイルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。 4. この授業は適切な授業運営上抽選をすることがある。 			
テキスト・参考書			
随時指示する。			
オフィスアワー			
基本は月曜日12:10~12:50。時間外でも対応します。ただし、いずれの場合も必ずメールでアポをとってください。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
J-passのクラスプロフィール機能を使用して行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
		初回ガイダンス+グローバリゼーション ①-世界に通じる個人とは？ 本授業の概要と目的を把握する。「世界で通用する個人」になるにはどうすれば	【予習】世界に通じる個人とはどういう人物であるか記述し提出す

1	大槻 茂実	ばよいのか、そもそも「世界で通用する個人」とはどのような個人であるのかを自分自身で理解できるようになるためにはどう学べば良いのか、毎回の授業の予習・復習方法を確認する。	る。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
2	大槻 茂実	様々な分断①働き方 第2回から第5回にわたって、様々な社会的分断を切り口として現代社会を捉えていく。第2回では正規雇用、非正規雇用といった働き方を焦点に分断を捉える。	【予習】非正規雇用という働き方は個人の自由な選択によるものといえるか、自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
3	大槻 茂実	様々な分断②学歴社会の分断 上昇移動を果たす上で、今日の社会では学歴の意義は大きいとされてきた。しかしながら、そうした学歴はどのようにして得られたのか？また、学歴社会はどのような帰結をもたらすだろうか？	【予習】学歴によって社会的地位の序列が決まる社会は近代社会といえるか。いえないのであればなぜか。理由も含めて、自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
4	大槻 茂実	様々な分断③社会保障制度が生み出す不平等 競争の敗者が生じる以上、そうした敗者を救済するセーフティネットが必要である。しかしながら、そうしたセーフティネットが適切に機能していないのであれば、近代社会の大前提が崩れることになる。この回では社会保障制度に着目する。	【予習】日本の社会保障制度を調べておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
5	大槻 茂実	様々な分断④不平等と公正感 様々な分断を捉える最終回。結局のところ、社会に生きる人々はその生活をとりにくく不平等を「正しいもの」とみなしているのだろうか？この回では、人々の公正感(公平感)に着目し、社会的不平等の正当性を考える。	【予習】スポーツにおけるルールへの評価と試合結果に対する満足感は理論的には大きく異なる。このことをしっかり理解しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
6	大槻 茂実	グローバル化する文化①ポピュラー文化 第6回と第7回ではグローバル社会における文化に着目する。特に第6回ではポピュラー文化に着目する。我々の生活をとりまくブランド商品の背後にある構造的な問題を検討しよう。	【予習】自分が好きなブランドを3つ用意し、そのブランドの製品の生産国を調べておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
7	大槻 茂実	グローバル化する文化②ソーシャルメディアと世論 今日の生活ではSNSを使用していない学生を探す方が難しい。いまや高齢者でさえfacebookを駆使することも珍しくない。こうしたソーシャルメディアは善き社会への起爆剤となり得るのだろうか？	【予習】ソーシャルメディアは善き社会への起爆剤となり得るのか。それは、なぜか？自分なりの考えとその根拠を用意しておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
		グローバル化するリスク①資本主義と気候変動 第8回から3回にわたって、リスクの観	【予習】気候変動について「1.5℃」はキーワードとなりつつある。気候変動における1.5℃とは何を意味しているのか調べておく。(90

8	大槻 茂実	点かたグローバル社会を読み解いていく。第8回は資本主義と気候変動の関連からグローバル社会におけるリスクを考える。	分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ、その内容を提出する。(90分)
9	大槻 茂実	グローバル化するリスク②デジタルテクノロジーと貧困 グローバルレベルの大きな社会の変化を捉える上では、デジタルテクノロジーへの注目は避けては通れないはずである。では、デジタルテクノロジーは人類に「善」をもたらすのだろうか？	【予習】デジタルテクノロジーは人類に「善」をもたらすのだろうか。自分なりの考えと根拠を用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ、その内容を提出する。(90分)
10	大槻 茂実	グローバル化するリスク③個人化する社会 自由で自律した個人の織り成す社会が近代であり、そうした近代を人々はあるべき社会として標榜してきた。しかしながら、今、そうした近代への賛美は曲がり角に差しかかっている。	【予習】自由とはどのような概念か。自分なりの定義を用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
11	大槻 茂実	グローバル時代のローカルな問題①共助型社会 グローバル化と同時に、少子高齢化も進展する現在の日本社会では共助が持続可能な社会の鍵となっている。ローカルな社会での共助がグローバル化の進展とどのように両立できるのかを考える。	【予習】共助型社会が望まれるようになった背景を考え、その内容を提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなす。課題所要時間は概ね90分をみておくこと。
12	大槻 茂実	グローバル時代のローカルな問題②孤立と高齢化社会 豊かな先進国である日本であるならば、人々は豊かな人生を送っているはずである。にもかかわらず、現実の日本社会には孤立、孤独死といった闇が日常社会の隣り合わせにある。データを駆使し、日本社会の実情をとらえる。	【予習】孤立と孤独の違いを考える。(90分) 【復習】外国にルーツをもつ子供がドロップアウトしてしまう社会的要因をまとめ、提出する。(90分)
13	大槻 茂実	グローバル時代のローカルな問題③ジェントリフィケーション 少子高齢化と呼応した都市の再編として、本授業ではジェントリフィケーションに着目する。グローバルレベルの人口移動は都市の再編を促進する。では、都市の再編の典型といえる都心回帰の波は社会にどのような帰結をもたらすのか。	【予習】ジェントリフィケーションが自由な経済活動の帰結として生じたものならば、それは支持されるべきと考えることができる。これについて、あなたの考えを言語化しておく。(90分) 【復習】多くのNPO/ボランティア団体の抱える問題をまとめ、提出する。(90分)
14	大槻 茂実	グローバル時代のローカルな問題④多文化共生社会 結局のところ、グローバル化という社会変動に人々はよりよく対処できるのだろうか？この回では、多文化共生社会に対する人々の意識からグローバルな社会における人々の共生可能性を検討していく。	【予習】多文化共生の定義を調べる。多文化共生に反対する人々の考えはどの点で正当化できないのか？自分の考えを正当化しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ、その内容を提出する。(90分)

15	大槻 茂実	本授業のまとめ-世界に通じる個人とは？ 本授業を総括し、初回のオリエンテーションで設定した問いの答えを検討する。	【予習】これまでの授業内容をまとめ、世界に通じる個人とは何か再考し、その内容を提出する。(90分) 【復習】授業内で提示された課題をこなし、その内容を提出する。(90分)

2020/04/16(木)10:59

授業科目名	グローバル社会とスポーツ		授業形態	講義
英語科目名	Global Society and Sports		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	北村 薫		ナンバリング	4103
科目担当者				
北村 薫				
授業の概要				
<p>スポーツは地球言語です。スポーツは国境をこえたグローバル社会を構成する世界最大の文化のひとつでもあります。例えば中国から伝わった漢字から日本で仮名がつくられたように、文化はさまざまな国や地域に伝搬することでその内容を変化させます。これを文化変容といいます。</p> <p>スポーツも例外ではありません。イギリスで創られた近代スポーツは、世界の各地に伝えられる中で、それぞれの国、地域の社会に存在する伝統スポーツと呼ぶべきものと融合しながら、それぞれの社会に適合的なスポーツとして変容してきました。</p> <p>本講では、文化変容をキーワードに、スポーツを切り口にして、日本、中国、ヨーロッパ、途上国などの社会を理解し、女性、ビジネス等、スポーツの文化としての新たな展開について自分たち独自の視点で読み解くための基礎的素養を身につけることを狙いとします。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化としてのスポーツを理解し、自分の言葉で説明することができる。 2. 日本のスポーツの文化的特性を理解し、自分の言葉で説明することができる。 3. スポーツを切り口にして世界各国・地域の社会と文化を理解し、自分の言葉で説明することができる。 4. 女性スポーツやスポーツビジネス等の新たな展開について自分の意見を持ち、今後のスポーツの在り方について展望を述べるができる。 				
成績評価方法				
<p>最終レポート、授業時の発言内容、自己学習の提出物、授業への取り組み姿勢により評価する。</p> <p>最終レポート25%、授業時の発言内容25%、提出物25%、授業への取り組み姿勢25%。</p>				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<ol style="list-style-type: none"> 1. WEB情報の取得等のため、ネットに接続できる機器(スマホ・タブレット・PCなど)を持参してください。 2. ゲストスピーカーの都合により日程や内容を変更することがあります。 3. グループ討議と発表を豊かなものにするカギは自分の考えを表明することです。 <p>文化としてのスポーツ、さまざまな国や地域について日ごろから情報を収集し、自分なりの考え方を整理するよう心がけてください。</p>				
テキスト・参考書				
<p>(参考書)井上俊・菊幸一編『よくわかるスポーツ文化論』ミネルバ書房 その他、適宜授業内で示します。</p>				
オフィシアワー				
<p>授業終了後に応じます。</p> <p>時間外の場合はメールでアポをとってください。</p> <p>メールアドレスは1回目の授業でお知らせします。</p>				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
<p>J-passのクラスプロフィール機能を使用していきます。</p> <p>適宜、提出文書にコメントをします。</p>				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●オリエンテーション 文化としてのスポーツを理解する。 授業の進め方を理解する。 グループ討議と発表を体験する。 	<p>【予習】 1回目なので特に予習は必要ありません。スポーツに関する情報を取得するように心がけてください。</p> <p>【復習】 自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にしながら文章にしまとめる(90分)。</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> ●近代スポーツの発祥と世界への拡がり なぜイギリスで近代スポーツが発祥し、世界に広がったかを理解する。 	<p>【予習】 スポーツの歴史について調べるとともに、世界各国に特有のスポーツについての理解を深める(90分)。</p>	

2・3	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。
4・5	ゲストスピーカー予定 北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の社会とスポーツ 日本スポーツ協会からゲストを迎えて、日本のスポーツの歴史と現状、今後の展開などを話していただく。 ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	【予習】 日本スポーツ協会の設立から現在までを調べ、日本のスポーツの歴史と現状を把握する(90分)。 【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。
6・7	ゲストスピーカー予定 北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の社会とスポーツ 中国国籍の方をゲストに迎え、中国のスポーツの現状、今後の展開などを話していただく。 ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	【予習】 WEB情報等で、中国のスポーツ政策の変遷と現状を把握する(90分)。 【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。
8・9	ゲストスピーカー予定 北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●ヨーロッパの社会とスポーツ スポーツ健康科学部からヨーロッパに留学経験のある先生をゲストに迎え、ドイツを中心にヨーロッパのスポーツの現状、今後の展開などを話していただく。 ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	WEB情報等で、ドイツ(ヨーロッパ)のスポーツ政策の変遷と現状を把握する(90分)。 【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。
10・11	ゲストスピーカー予定 北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●途上国の社会とスポーツ スポーツ健康科学部から途上国でのスポーツ支援経験のある先生をゲストに迎え、途上国のスポーツの現状、今後の課題などを話していただく。 ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	【予習】 WEB情報等で、途上国のスポーツの現状と支援について把握する(90分)。 【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。
12・13	ゲストスピーカー予定 北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●世界における女性スポーツの展開 スポーツ健康科学部・順天堂大学女性スポーツ研究センターからゲストを迎え、女性スポーツに関する世界の現状や今後の課題などを話していただく。 ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	【予習】 WEB情報等で、世界における女性スポーツの展開について把握する(90分)。 【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。
14・15	北村 薫	<ul style="list-style-type: none"> ●グローバルビジネスとしてのスポーツ ピーター・ユベロス、マーク・マコーマックらが切り開いたスポーツビジネスの道。ワールドワイドに展開するスポーツの商品化について考える。 ●グループ討議と発表 講義で示された課題について話し合い、その成果を発表する。 	【予習】 WEB情報等で、グローバル化したスポーツビジネスの現状と今後の在り方について把握する(90分)。 【復習】 講義内容、自分たちの発表、他のグループの発表を踏まえた振り返りをWEB情報などを参考にして文章にしてまとめる(90分)。

2020/04/16(木)11:00

授業科目名	グローバル社会における文化		授業形態	講義
英語科目名	Culture in Global Society		開講学期	後期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	湯浅 資之		ナンバリング	4104
科目担当者				
湯浅 資之、白山 芳久、樋野 興夫、辰巳 洋、岡本 裕樹、川田 裕美、野田 愛、儀藤 政夫、神作 麗、佐藤 准子、和田 裕雄、友岡 清秀、小柳 祐華				
授業の概要				
作家司馬遼太郎によると、文明が普遍的、合理的であるのに対して、文化は特殊的、不合理的なものであり、地域や集団によりその価値は大きく異なる性格を有しているという。人間は文明の中で生活しているが、文化の中でも生活する存在である。それぞれ異なる文化の中に生きる人々と接するとき、異文化理解は重要であり、多様な視座から文化を考えることが必要となる。本講義では、画一的なグローバル化が進む現代社会にあっても、個々の文化に生きる人々の健康をどのようにとらえたらよいのかという思考方法を様々な事例を通して学ぶことを目的とする。				
授業の達成目標				
1. 個々の文化を尊重しつつ健康を把握する意義について説明できる。 2. 具体的事例を挙げて、文化の中で健康を捉える方法を説明できる。				
成績評価方法				
出席(50%)、提出レポートの点数(50%)				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
終了時に配付資料を基にレポートを作成するので、各講義内で配付された資料は保管しておくこと。 本科目は医学部さくらキャンパスで実施される「文化の中の健康」と同じ内容で開講されます。				
テキスト・参考書				
必要に応じて講義時間内に配付する。				
オフィスアワー				
専任教員は各オフィスアワーを確認すること。非常勤等は授業の前後とするが、テレビ会議システムを使用した授業もあるため科目責任者のオフィスアワー時に質問事項を整理のうえ訪問すること。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業内で適宜返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	辰巳 洋(なみ)	人生は即ち食—食薬同源・食医同源 中医薬膳学について	【予習】文化の視点から食について考え、自分なりの意見を整理しておく。(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行うこと。(90分)	
2	儀藤 政夫	日本文化の中の精神医療 日本と欧米の精神医療の歴史を比較して	【予習】文化の視点からメンタルヘルスについて考え、自分なりの意見を整理しておく。(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行うこと。(90分)	
3	神作 麗	世界の多様な文化における健康	【予習】文化に特有な健康観や疾病概念にがあるか事前に調べておく。(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行うこと。(90分)	
4	白山 芳久	伝統的治療と近代公衆衛生学による治療と予防	【予習】自然宗教のもとでは人々は病いをどのように捉え対応してきたか、自分なりの意見を整理しておく。(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行うこと。(90分)	
5	川田 裕美	健康とIT	【予習】文化の視点からITと健康について考え、自分なりの意見を整理しておく。(90分) 【復習】講義の内容の振り返りを行うこと。(90分)	
			【予習】文化の視点から健康について考え、自分なりの意見を整理	

2020/02/26(水)13:28

授業科目名	グローバル社会における人口問題		授業形態	講義
英語科目名	Population Issues in Global Society		開講学期	後期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	池上 清子		ナンバリング	4106
科目担当者				
池上 清子(日本大学大学院総合社会情報研究科)				
授業の概要				
<p>世界の人口問題とは何か、自分の生活と関連するのか？を考える授業となる。日本のような先進国における少子・高齢化と、開発途上国における人口爆発との、大きく2つの問題がある。この2つはまったく異なる現象とも見えるが実は、根本では、同じ原因とも考えられるのである。まず、具体的な現象面を理解したうえで、人口問題が究極的には、個人の意思決定(産むか産まないか)によることを踏まえつつ、個人やカップルによる自由な意思決定の可能を保障する方法論にも言及する。</p> <p>医療システムが行き届いた結果としての長寿・高齢化。一人ひとりの個人やカップルが決定した結果としての少子化。日本や先進国で進んでいる少子・高齢化の社会について、まず、国連機関や日本政府が発表する最新データを分析し、これを分析し、どのような課題があり、どのような政策が妥当なのかを考える。さらに、人口予測による2050年の世界ではすべての国で高齢化社会を迎えることを念頭に置く。</p>				
授業の達成目標				
<p>① 世界と日本の少子・高齢化の違いを説明できる、</p> <p>② 歓迎すべき成果である高齢化にとっての課題と対応策を分析できる、</p> <p>③ 子どもの価値の変化、個人としての自己決定及び社会とそのシステムなど、少子化を取り巻く要因を分析できる。</p>				
成績評価方法				
出席(25%)、グループ討論の課題の提出(25%)、テーマ別の発表内容と質問・コメントの点数(50%)				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>第三回を除き、毎回の授業テーマに関して、学生はリサーチをした結果およびその分析、自分の意見などを発表すること(一人5分程度)が期待される。その割り振りは事務局から掲示される予定。なお、第三回は、ロールプレイを行う。全8回すべてが参加型の授業となるため、積極的な参加が求められる。</p> <p>※後期開始前にグループ発表と課題プレゼンの準備について指示する。</p>				
テキスト・参考書				
<p>① 国連人口基金(UNFPA)「21世紀の高齢化」2013(UNFPA東京事務所HPからダウンロード可)、</p> <p>② 阿藤誠、佐藤龍三郎編著「世界の人口開発問題」原書房、2012、</p> <p>③ 山本玲子編著「衛生・公衆衛生学」アイ・ケイ・コーポレーション、2016</p>				
オフィシアワー				
授業の前後とする。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
グループ討論の課題へのコメントは次回にグループごとに戻す。また、テーマ別の発表内容へのコメントは、発表当日にフィードバックする。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	池上 清子	「少子化と高齢化は別もの」	<p>【予習】授業内容に関連した論文・著書の一つ選んで読み、授業内容を自分なりに膨らませておくこと(90分)</p> <p>【復習】イントロとして少子化と高齢化についてパワーポイント資料を配布するので、復習する際の資料として活用(90分)</p>	
2	池上 清子	「世界と日本の少子・高齢化の傾向」	<p>【予習】テキスト②の第7章を参照のこと(90分)</p> <p>【復習】授業中に紹介する文献の中から、一番興味のある内容に関連するWebsite・論文・著書を読んで、授業内容を深く理解する。(90分)</p>	
3	池上 清子	グループワークと発表	<p>ロールプレイをグループで行う。内容は当日発表。</p> <p>【予習】授業内容に関連した論文・著書の一つ選んで読み、授業内容を自分なりに膨らませておくこと(90分)</p> <p>【復習】授業中に紹介する文献の中から、一番興味のある内容に関連するWebsite・論文・著書を読んで、授業内容を深く理解する。(90分)</p>	

2020/02/21(金)16:50

授業科目名	世界の食糧問題		授業形態	講義
英語科目名	Issues in World Food		開講学期	後期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	志邨 建介		ナンバリング	4107
科目担当者				
志邨 建介				
授業の概要				
FAOによると2011～2013年の間、世界のおよそ8人に1人が健康で活発な生活を送るために十分な食糧が得られず慢性的な飢餓に苦しんでいたとされる。世界の食糧は本当に足りていないのか。まずは開発途上国の飢餓・栄養不良の現状について理解を深めた上で、開発途上国食糧問題の引き金ともなっている先進国の食糧政策や、その改善に向けた国際社会の取組等について学習する。				
授業の達成目標				
1. 世界の食料問題の構造を理解する。 2. アフリカ及びアジアにおける食料・農業の現状と問題点を理解する。 3. アメリカ、EUおよび日本の食料・農業政策と国際社会の取組を理解し、世界の食料問題の改善に対する自分なりの視点を持てるようにする。				
成績評価方法				
成績評価方法・基準:				
1. 成績評価方法 課題レポート(論述問題)100%。				
2. 成績評価基準 論述問題の採点にあたって以下の基準(配点は暫定)を使用し、各々について到達度合いを評価する(5段階評価)。 ①問題の理解度(問われている問題を正しく理解しているか)10点 ②回答の論理性(回答の組立が諸説の単なる切り貼りではなく、論理性をもっているか)40点 ③回答に用いる既存の論考・データの適切性と使用方法(出典を明記しているか)30点 ④回答のオリジナリティ(既存の論考に対する新たな視点や問題提起があるか)20点				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
①課題資料について事前に読み込んでおくこと(理解できない点があっても取り敢えず最初から最後まで目をとおす)。 ②英語の資料を使用する場合があるが、忌避せず取り組むこと。				
テキスト・参考書				
講義時に指示する。				
オフィシアワー				
JUNTENDO-PASSPORT の連絡機能(Q&A)にて、問い合わせを受け付ける。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
サテライト事務室にて採点結果を返却する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	志邨 建介	初回ガイダンス 食糧問題・食料安全保障の概観と講義 計画の説明。	【予習】シラバスの内容を確認しておくこと(90分) 【復習】授業の振り返り(90分)	
2	志邨 建介	アフリカの食料問題・食料安全保障① アフリカ諸国の独立(1960年代)から今日までの経済社会状況の変化を概観し、その中で今日のアフリカが直面する食料問題を把握する。	【予習】課題資料(追って決定)の読み込み(90分) 【復習】講義内容及び資料のレビュー(90分)	
		アフリカの食料問題・食料安全保障②		

2020/08/05(水)16:52

授業科目名	多文化共生を考える(多文化社会論)		授業形態	講義
英語科目名	Towards Multiculturalism (Multicultural Society Studies)(?)		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	木村 自		ナンバリング	4105
科目担当者	木村自			
授業の概要	<p>グローバリゼーションを世界の液化化ととらえる視点があります。人や物や情報が国境を越えて流動し、国の境界線が大きな意味を持たなくなっているように見えます。他方で、イギリスがEUから離脱し、排外的なヘイトスピーチが行われるなど、国境や国民アイデンティティが強化されるような現象も生じています。こうしたグローバリゼーションの流れを踏まえて、本講義では、多元化し多様化する社会のあり様を、移民、日系人、エスニシティ、アイデンティティ、ジェンダー、先住民などのトピックに沿ってお話します。これらの課題群を明らかにした後、私たちの生きる社会における多文化共生の在り方について、具体的な課題に従って、少人数における調査やグループ討議、プレゼンテーションを行います。</p> <p>(授業計画は、変更する可能性があります。また、受講人数によっては、フィールドトリップを行うこともあります。)</p>			
授業の達成目標	現代社会における多文化の状況について、社会学等の概念を用いて説明する力をつける。			
成績評価方法	授業への参加度20%、リアクションペーパー15%、プレゼンテーション15%、授業終了時レポート50%を総合して評価する。			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	受講生は、授業に積極的に参加し、授業で指示した参考文献に目をとっておくこと。			
テキスト・参考書	テキストは使用しない。参考文献は、石井香世子2017『国際社会学入門』ナカニシヤ書店; アパデュライ(藤倉達郎訳)『グローバリゼーションと暴力』世界思想社。それ以外の参考文献・資料等は、授業中に随時指示する。			
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	各回提出のリアクションペーパーに対して、授業内でコメントする。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	木村自	イントロダクション ・多文化共生を考えるための補助線 ・人類は移動とともに生きてきた ・多民族社会／国家	身の回りで起こっている社会現象やニュース情報などから、多文化の包摂と排除、寛容と非寛容の事例を考えてみる。 予習90分＋復習90分	
2	木村自	グローバリゼーションと移民 ・国際的な人の移動と南北格差について学ぶ ・プッシュ＝プル要因という概念について理解する	身の回りで起こっている社会現象やニュース情報などから、多文化の包摂と排除、寛容と非寛容の事例を考えてみる。 予習90分＋復習90分	
3	木村自	移民国家の移民研究 ・アメリカ、カナダなどの移民国家歴史を学ぶ ・移民社会、多文化社会を理解するための基礎概念を学ぶ	自分の居住している地域を歩き、どのようなエスニック・ビジネスが成立しているのかを観察してみる。 予習90分＋復習90分	
4	木村自	ジェンダー化する移民 ・とくに女性によって担われる移民の現状について理解する ・国境を越えて労働に従事する女性を理解するための概念を学ぶ	自分の居住している地域を歩き、どのようなエスニック・ビジネスが成立しているのかを観察してみる。 予習90分＋復習90分	
5	木村自	日本人の海外移住と日系人 ・移民輸出大国日本の歴史を学ぶ ・海外居住日系人の生活について学ぶ	授業内で紹介する映像資料をもとに、日本から海外に移住した人々について調べる 予習90分＋復習90分	

6	木村自	帰ってきた日系人 ・日系人移民の日本への「デカセギ」について理解する	授業内で紹介する映像資料をもとに、日本から海外に移住した人々について調べる 予習90分＋復習90分
7	木村自	周縁化される先住民族 ・国民国家建設のプロセスのなかで、先住民族が国家の周縁部に押しやられていく過程を理解する。 ・オーストラリア、カナダ、日本、台湾における先住民族の現状を理解する	アイヌをとりまく近年の社会運動・政策について調べる 予習90分＋復習90分
8	木村自	闘う先住民族 ・先住民族の権利回復運動の歴史展開について理解する	アイヌをとりまく近年の社会運動・政策について調べる 予習90分＋復習90分
9	木村自	混交する人と文化 ・ミックス・ルーツの人々に関して、事例をもとに理解する	授業内で紹介する映像資料をもとに、ミックス・ルーツを生きる人々のアイデンティティの複数性について考察する 予習90分＋復習90分
10	木村自	混交する人と文化 ・ハイブリッドな文化のあり方を理解するための概念を知る	授業内で紹介する映像資料をもとに、ミックス・ルーツを生きる人々のアイデンティティの複数性について考察する 予習90分＋復習90分
11	木村自	多文化社会としての日本 ・オールドカマーとニューカマーという概念について理解する ・日本、とくに東京のインナーシティにおける多文化共生の状況を学ぶ	国や地方自治体のウェブサイトを見て、どのような多文化共生政策が取られているのかを調べてみる 予習90分＋復習90分
12	木村自	多文化社会としての日本 ・日本の難民認定と難民の生活について学ぶ ・日本における国および地方行政の多文化政策を理解する	国や地方自治体のウェブサイトを見て、どのような多文化共生政策が取られているのかを調べてみる 予習90分＋復習90分
13	木村自	レポート発表会 ・各自の関心あるテーマに従って調べ、レポートを作成し、パワーポイントを用いて発表する。	関心のあるテーマについて、各自調査し、レポートを作成する。 予習90分＋復習90分
14	木村自	レポート発表会 ・各自の関心あるテーマに従って調べ、レポートを作成し、パワーポイントを用いて発表する。	関心のあるテーマについて、各自調査し、レポートを作成する。 予習90分＋復習90分
15	木村自	授業のまとめ	14回分の授業内容について、授業内で配布した資料、授業内で指示した参考文献を見直し、復習しておく。 予習90分＋復習なし

2020/02/21(金)15:51

授業科目名	世界の人権問題		授業形態	講義
英語科目名	Issues in Human Rights		開講学期	前期(集中)
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	片山 和則		ナンバリング	4108
科目担当者				
片山 和則				
授業の概要				
<p>本講義では、人権の国際的な実施のための制度・枠組を理解し、国際社会において人権侵害をなくすためにはどうすればよいか、さらには国内的な実施にどのようにつなげていくか等について、考えていくための基礎を身につけることを目標とする。本講義では、これらの現代社会における人権問題を考えていく。具体的には、人権に関する歴史的な流れを踏まえながら、人権保障(法における保障)にベースに学んでいく。そこでは、近現代の日本国内に潜む人権問題および諸外国の人権問題について学習する。人権について、受講生それぞれに自分の問題として考えさせることを目的とする。人権とは「遠い世界の、自分とはかかわりのない、誰かわいそうな人の問題」「自分がその立場でなくてよかったと思う問題」ではない。人権とはマイノリティだけの問題ではなく、自分たちが支えている社会の問題である。少なからぬ人権侵害が、個々人が現にむきあっている問題であったり、生活のなかに見出され、あるいは地続きのところに転がっているが、それを実感することは容易ではない。人権とは何か、人権問題とは何か、社会のありかたとどのようにかかわるのか、差別とはどのような関係にあるのかなどの問いについて、具体的に考えてみる。とくに国際人権法分野に関する内容になるが、国内裁判や国際機関において指摘される日本の人権状況について考え、国際人権法が関わる様々な問題状況について理解を深める。</p>				
授業の達成目標				
<p>本授業を通して、国際的な考え方を身につけることを目標とします。 そして世界の人権問題を自分自身で考えられるようになることが最終的な目標です。 具体的には、自分と異なる考え方を持つ人を尊重することについて真剣に考えられるようになることが本講義の目標です。 世界の人権問題、具体的には国際法や国際政治学に関して少しずつ理解し、自身の人生や生活の一助となるような価値観と理解を求められたらと考えている。また、安倍政権下において憲法改正議論が本格化する見込みであるため憲法改正と平和主義(自衛隊を国防軍にすべきか等)についても言及したい。昨年度は令和になったことによって注目を集めた天皇・皇族の人権問題や同和問題についても簡単に説明した。今年度も時間に余裕があれば説明したい。</p>				
成績評価方法				
定期試験(100%)により評価する。ただし、授業中に積極的に発言するなど授業に貢献した場合は、加点要素とする。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>事前学習は必要ではありませんが、その都度の授業で学習したことを「本当かな?」という批判的視点で検証してみる姿勢が大切です。また、法と社会(日本国憲法)を履修していた、若しくは履修中であることが望ましい。国内の人権保障が、結果として国際社会の平和を確保しているという観点についても理解することを目標としています。</p>				
テキスト・参考書				
<p>講義毎にレジュメを配布する。 植木俊哉(東北大学理事、東北大学大学院法学研究科教授)編『ブリッジブック国際法(信山社)』第3版 こちらを参考図書としてあげておく。</p>				
オフィシアワー				
当該授業(集中講義)終了後に第2教育棟非常勤講師控室にて行う。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
個別に対応する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	片山 和則	国際人権法の意義	<p>国家主権の壁を越えて、人権が国際社会において保護されるようになった歴史的社会的背景を検討し、今日の国際人権法の性質を理解できるようにします。 【予習】:人権の重要性について自分なりに考える 【復習】:人権が重要視されるようになった歴史的背景を自分なりに考える。</p>	
2	片山 和則	「人権」とは何か	<p>人権とは何か。なぜ必要なのか。人間社会においてどのような位置をもつのかをあらためて考える。</p>	

2020/08/04(火)13:37

授業科目名	開発社会論		授業形態	講義
英語科目名	Developmental Sociology		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	大槻 茂実		ナンバリング	4111
科目担当者				
大槻 茂実				
授業の概要				
<p>世界が向かうのは統合か、分断か。履修者は本授業でこの問いを解き明かすことになる。</p> <p>国際社会学とは何か？詳細な定義はともかくとして、国際社会をとらえる社会学といった内容であることは想像に難くないはずだ。しすなわち、国際社会学とは国際化より正確にはグローバリゼーションがすすむ現代社会を捉える上で強力な社会学の一分野だといえよう。</p> <p>ヒト・モノ・カネの移動であるグローバリゼーションは、世界を1つのシステムとして成立する過程を示しているといえる。つまり、日本や欧米諸国とアジア諸国などといった国ごとの社会ではなく、地球という1つの社会が成立する過程を示した概念なのである。</p> <p>そうであるとすれば、グローバリゼーションが進む中で、世界は1つの社会システムとして統合されるのだろうか、分断してしまうのだろうか。あるいは、そうした二元論にたった視座が世界の行く末を読み解く上で不十分なのだとすれば、どのような形での統合や分断が生じているのか。我々は国際社会を冷静に読み解く必要がある。ここにおいて、上記の国際社会学が有益な道具となることが理解できよう。</p> <p>本授業では、開発社会論および国際社会学のエッセンスを学びつつ、現代社会を統合/分断の切り口から読み解くことを目的とする。特に社会的な想像力を徹底することで、グローバル社会領域を中心とした専門知を実践的に習得していく土台をつくる。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル的な視点でローカル社会を読み解く想像力を身につける。 2. 移動、つながり、帰属の重層的な関係から社会構造を読み解く意義を理解する。 3. グローバリゼーションの進展にともなう今日的な課題に関する自分の見解を言語化できるようになる。 				
成績評価方法				
通常課題(毎回WEBに入力する予習・復習)とレポートにより評価する。評価基準は通常課題30%、レポート60%、総合判定10%。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回の資料はWEB上にアップするので、必ずアクセスして授業・課題に取り組むこと。 2. 予習・復習の記入内容等は、匿名化した上でJ-pass上にアップすることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。 3. 授業ではディスカッション形式ですすめることがある。このことをあらかじめ知っておくこと。 3. 学生の理解度により授業内容や授業構成が変更されることがある。またコロナウイルス対応の点から大幅な変更を行う可能性がある。このことをあらかじめ知っておくこと。 				
テキスト・参考書				
随時授業内で指示する。				
オフィスアワー				
基本は月曜日12:10~12:50。時間外でも対応します。ただし、いずれの場合も必ずメールでアポをとってください。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
J-passのクラスプロファイル機能を使用する。その他の場合には、授業内で説明する。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	大槻 茂実	初回ガイダンス_世界が向かうのは統合か、分断か。	【予習】本授業のシラバスを精読し、世界が向かうのは統合か分断か、自分なりの考えを定めておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)	
2	大槻 茂実	労働市場と移民システム Keyword 新自由主義	【予習】総務省統計局の国勢調査にアクセスし、日本における外国人口を調べる。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)	
3	大槻 茂実	国民国家とシティズンシップ Keyword 難民・無国籍者	【予習】シティズンシップの訳語は何か、調べておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)	
4	大槻 茂実	社会階層論	【予習】①資源とは何か一般的な定義を調べておく②人を地位を測定する上でその人がもつ有効な情報は何か考えておく。(90分)	

		Keyword 社会的資源	【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
5	大槻 茂実	社会階層と高度人材 Keyword 頭脳流出	【予習】仮に政府が高度人材の流出の阻止を主眼とした政策を実施したならばその政策は妥当であると評価できるか、自分なりの考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
6	大槻 茂実	同化主義・多文化主義・社会的統合 Keyword 共生	【予習】多文化主義とは何か、調べておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
7	大槻 茂実	多様性と人とのつながり Keyword ソーシャルキャピタル	【予習】共助型社会とは何か調べておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
8	大槻 茂実	世界都市とグローバル化 Keyword グローバルシティ	【予習】大都市への人口流入の要因とは何か？またそうした移動はどのような帰結をもたらすのか？事前に調べ、自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
9	大槻 茂実	開発と援助 Keyword 傲慢な援助	【予習】住民にとっての開発はいかにして可能か？またなぜそれが困難であるのか？事前に調べ、自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
10	大槻 茂実	宗教とアイデンティティ Keyword 社会的凝集	【予習】宗教を介した凝集の弊害とその克服について、事前に調べ自分の考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
11	大槻 茂実	世界のスポーツイベントとその遺産 Keyword オリンピック	【予習】これまでの授業内容を踏まえ上で、スポーツイベントのメリットとデメリットを社会的に考察しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
12	大槻 茂実	社会運動 Keyword 連帯	【予習】グローバルレベルの社会運動は可能か？可能であるとすれば、それはどのようにして可能なのか？これまでの授業内容を振り返りながら自分なりの考えを用意しておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
13	大槻 茂実	貧困と向き合う Keyword 相対的貧困	【予習】相対的貧困とは何か？この点を調べた上で、「グローバル市民」が着目すべき社会問題とは何かを考えておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
14	大槻 茂実	社会開発における専門知 Keyword 社会調査	【予習】国際教養学部とりわけグローバル社会領域で学ぶ専門知はいかにして社会開発に応用できるのか？そのためには残りの学生生活でどのような学びを実践するべきか？自分なりの具体的なプランを練っておく。(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)
15	大槻 茂実	本授業のまとめ_世界が向かうのは統合か、分断か。	【予習】これまでの授業内容を振り返り、世界が向かうのは統合か分断か、自分なりの考えを定めておく(90分) 【復習】授業内で提示された課題を調べ提出する。(90分)

2020/08/04(火)13:39

授業科目名	地球環境論		授業形態	講義
英語科目名	Our Global Environment		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	齊藤 智樹		ナンバリング	4109
科目担当者	齊藤智樹			
授業の概要	<p>グローバル化が進む時代において、地域レベル・地球レベルでの様々な環境問題が深刻化している。本講義では、これら環境問題を「世界的で複雑な問題群」として捉え、システムアプローチの視点から、その特性と所在、相互関係性、環境問題の構造等について理解する。さらには、それらの問題に対して私達はこういった対応が出来るのか、STEMの視点から実際に解決策をデザインすることで理解を深める。本講義においては、環境イデオロギーを考慮し、地球環境問題と自身の倫理観を関連づける様々な視座を提供する。同学期に開講する「持続可能な社会」とは対になっており、本講義ではよりシステムアプローチに主眼をおいて、解決策の構築を目指す。なお、1授業(90分)において、前回講義からの問いへの回答:学生同士のディスカッション:講義が時間にして2:4:4程度展開される予定である。</p>			
授業の達成目標	<p>環境問題を「世界的で複雑な問題群」として捉え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・システムアプローチを通じて環境理解を深める ・環境問題に対する解決策のデザインができるようになる ・また、それらを内外に発信すること <p>ことを、達成目標とする。</p>			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義時にリフレクションの投稿on Flipgrid (30%) ・グループワークへの参加状況 on Slack (30%) ・その他本講義からのプロダクト(グループ発表(中間・期末)・スライド・レポート等30%) ・期末試験(10%) 			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、グループワークを含みます。 ・他の学生と協力して、解決策構築に取り組むこと。 ・オンラインサービス[Flipgrid]と[Slack]を使用しますので、事前にアプリをインストールしておくことを勧めます。 ・講義の動画もオンラインサービスから配信予定。教育実習がある方は、それを見て後日レポート作成可。 			
テキスト・参考書	<p>テキスト「環境リテラシーの学習内容と順序」(SEEK, 2006) Webから見られます。</p> <p>以下は参考書</p> <p>「伝わる!文章力が身につく本」高橋書店</p> <p>「The Oxford Guide to Effective Writing and Speaking: How to Communicate Clearly」Oxford University Press</p> <p>「The Oxford Guide to Effective Argument and Critical Thinking」Oxford University Press</p>			
オフィスアワー				
授業の前後とします。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内及びオンラインサービスで適宜行います。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	齊藤智樹	<p>ガイダンス:本講義の進め方</p> <p>Flipgrid & Slackの利用法</p> <p>課題の提出及び評価について</p> <p>システムアプローチ(SA)総論</p> <p>次回までの課題について</p>	<p>[予習]90分</p> <p>FlipgridとSlackのモバイルアプリを事前にインストールしておくこと。</p> <p>テキスト「環境リテラシーの学習内情と順序」をダウンロードし、参照できるようにしておく。</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をFripgridに上げる ・今回講義からの問いをSlackに上げる ・各自の考える解決策をA4一枚にまとめてくる(PP使用) 	

2	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・各自の考える解決策の発表 ・最終発表について ・SA各論①部分と事象 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>個体, 特性, 概念, メンバー, グループ, 類似点と相違</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答
3	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・課題解決(PS)①問題の設定, グループ分け ・SA各論②部分と事象-2 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>生物的な要素, 非生物的な要素, プレインストーミング</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答
4	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・PS②ニーズの把握 ・SA各論③相互作用と関係性 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>生態系, フィードバック, 個体数・個体群, 捕食, 移住, 栄養段階, コミュニケーション, 公式と非公式, 理想と現実</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
5	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・PS③課題と問いの設定 ・SA各論④相互作用と関係性-2 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>原因と結果, 混沌, サイクル(循環), 見込み, 移り変わりと恒常性, 機能, シナジー, パターン, 相互関係, 組織・構造</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
6	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・SA各論⑤サブシステム ・PS④調査の計画と実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>生物群系, 境界線, 生息地, 階層化, 生態的地位</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
7	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・SA各論⑥インプットとアウトプット ・PS⑤調査の計画と実施-2 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>技術, 発明と革新, 資源, 廃棄物, 製品</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
8	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・調査のまとめと解決策(モデル)の発表 ・SA各論⑦時間に伴う変化 	<ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>蓄積, 多様性, 進化, 絶滅, 突然変異, 確率, 種, 閾値, 個体数・個体群</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の発表について振返り ・グループ議論を進める
9	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・調査のまとめと解決策(モデル)の発表② ・SA各論⑧時間に伴う変化-2 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>気候変動, 地形の変化, 移住, 見込み, 割合, 格付け, 冗長性</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の発表について振返り ・グループ議論を進める
10	齊藤智樹	<ul style="list-style-type: none"> ・前回講義からの問い ・PS⑥考察・障害・工夫 ・SA応用編①時間に伴う変化とレジリエンス 	<p>[予習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下記のキーワードを事前に調べること <p>レジリエンス, Constraints, Tinkering, 問いと考察の一貫性</p> <p>[復習]90分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回のお題について回答

			・グループ議論を進める
11	齊藤智樹	・前回講義からの問い ・SA応用編②人間の持つニーズと生態学的なニーズ ・PS⑥ニーズの再考	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること エンジニアリングレジリエンス, エコロジカルレジリエンス [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
12	齊藤智樹	・前回講義からの問い ・SA応用編③フィードバックの活用 ・PS⑦証拠に基づいた推論	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 負のフィードバックループ [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
13	齊藤智樹	グループ発表①	[予習]90分 ・グループ発表に向けて準備をすること [復習]90分 グループ発表①へのリアクション ・発表PP最終版をSlackへアップ
14	齊藤智樹	グループ発表②	[予習]90分 ・グループ発表に向けて準備をすること [復習]90分 ・グループ発表②へのリアクション ・発表PP最終版をSlackへアップ
15	齊藤智樹	グループ発表振り返り 期末試験	[予習]90分 ・期末試験に回答できるよう準備しておくこと [復習]90分 ・本講義全体を振り返り、これまでのやり取りに対して、新たに見えてきたことなど、Slack上にコメントする。期日までのものは、評価の対象とする。

2020/08/04(火)13:40

授業科目名	持続可能な社会(サステナビリティ)		授業形態	講義
英語科目名	Creating a Sustainable Society		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	齊藤 智樹		ナンバリング	4110
科目担当者	齊藤智樹			
授業の概要	<p>グローバル化が進む時代において、地域レベル・地球レベルでの様々な環境問題が深刻化している。本講義では、これら環境問題を「世界的で複雑な問題群」として捉え、環境教育の歴史、グローバルな環境問題と持続可能な開発の本質、生物多様性の意義、パートナーシップの重要性などの観点から、持続可能な開発のための教育(ESD)と持続可能な開発目標(SDGs)の意義を捉える。また、グループに分かれ順天堂大学周辺で実施可能なSDGsプロジェクトの開発を通して、実際の問題に関わっていく姿勢の涵養と、STEMを関係づけた具体的な方略の獲得、プロジェクトのプレゼンなどを通じて発信する。なお、同学期に開講する「地球環境論」とは対になっており、本講義ではSDGsを中心に講義展開する。1授業(90分)において、前回講義からの問いへの回答:学生同士のディスカッション:講義が時間にして2:4:4程度展開される予定であり、SlackやFlipgridなどのオンラインサービスを通じた議論が授業参加と同等の位置づけとなる。</p>			
授業の達成目標	<p>環境問題を「世界的で複雑な問題群」として捉え、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsを通じて持続可能な開発のための教育への理解を深める ・SDGsに対応する身近な解決策のデザインができるようになる ・デザインした解決策を実行し、その効果について評価し、証拠に基づいて意見を述べたり、書いたりして適切に発信できる。 			
成績評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・各講義時にリフレクションの投稿on Flipgrid/Slack(30%) ・グループワークへの参加状況on Slack & Flipgrid(30%) ・その他、本講義内での成果物(中間レポ、小テスト、PPスライド、学習の履歴等)(30%) ・期末試験(10%) 			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義は、グループワークを含みます。 ・他の学生と協力して、解決策構築に取り組むこと。 ・オンラインサービス[FlipgridやSlack]を使いますので、事前にアプリをインストールして、慣れておくことを勧めます。 ・講義の動画もオンラインサービスから配信予定。教育実習等がある方は、それを見てレポート作成可。 			
テキスト・参考書	<p>「SDGsと環境教育」学文社2017。以下は参考書。 「環境リテラシーの学習内容と順序」SEEK 「The Oxford Guide to Effective Writing and Speaking: How to Communicate Clearly」Oxford University Press 「The Oxford Guide to Effective Argument and Critical Thinking」Oxford University Press</p>			
オフィスアワー	授業の前後とする。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	授業内及びオンラインサービスで適宜行います。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	齊藤智樹	<p>ガイダンス:本講義の進め方 Flipgrid & Slackの利用法 課題の提出及び評価について SDGs×STEM総論 次回までの課題について</p>	<p>[予習]90分 FlipgridとSlackのモバイルアプリを事前にインストールしておくこと。 テキスト「SDGsと環境教育」を入手し、参照できるようにしておく。 [復習]90分 ・自己紹介をFripgridに上げる ・今回講義からの問いをSlackに上げる ・各自の考える解決策をA4一枚にまとめてくる(PP使用)</p>	

2	齊藤智樹	各自の考える解決策を発表 最終発表について 課題解決(PS)①問題の設定・グループ分け SDGsとは	[予習]90分 下記のキーワードを事前に調べること 持続可能性・SDGs17つ・具体化・一般化とは [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
3	齊藤智樹	環境教育の3つの時代 公害教育としての環境教育 PS②ニーズの把握	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 水俣病・大気汚染・水質汚濁・地盤沈下 [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
4	齊藤智樹	前回講義からの問い 環境教育の低迷と普及 持続可能性のための教育 PS③課題と問いの設定	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 持続可能性 [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
5	齊藤智樹	前回講義からの問い 環境教育の目標の変遷 初期の国際目標 国内の発祥 環境教育の目的目標 持続可能な開発のための教育 PS④調査の計画と実施	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること ベオグラード憲章・国連環境計画・トビリシ宣言・環境リテラシー [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
6	齊藤智樹	前回講義からの問い MDGs・SDGs 開発問題の本質 ミレニアム開発目標の効果と反省 ポストMDGs 日本における(これまでの)環境教育 PS⑤調査の計画と実施-2	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 持続可能な開発, MDGs, 貧困問題, 格差, 環境保護と環境保全の違い [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
7	齊藤智樹	前回講義からの問い 環境問題の特性と所在 調査のまとめと解決策(暫定モデル)の発表	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 地球温暖化, 資源, 森林の伐採 [復習]90分 ・他グループの発表についてコメント ・グループ議論を進める
8	齊藤智樹	前回講義からの問い 生物多様性① 愛知目標とSDGs 中間試験 PS⑥考察・障害・工夫	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 多様性, 愛知目標 [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
9	齊藤智樹	前回講義からの問い 生物多様性② 生物多様性と環境教育 PS⑦ニーズの再考	[予習]90分 ・下記のキーワードを事前に調べること 里山, 里海, Solutionとは何か [復習]90分 ・今回のお題について回答 ・グループ議論を進める
			[予習]90分

2020/07/29(水)13:39

授業科目名	国際関係論		授業形態	講義
英語科目名	International Relations		開講学期	後期
対象学年	2		単位数	2
科目責任者	玉村 健志		ナンバリング	4112
科目担当者				
玉村 健志				
授業の概要				
<p>いま世界では、戦争や平和に関わる問題を初めとして、経済、環境、開発など、様々な分野で国際的な問題が発生している。現在の国際関係がどのように形成され、どのように変化してきたのか、またそれをどのように捉えられるかを考えることがこの講義の目的である。国際政治の性質とはどのようなものか、グローバリゼーションとは何か、国際的問題の解決のために国際機関はどのような役割を果たしているのかなどの点を初めとして、現代の国際政治をどう捉えられるかを学んでいく。将来国際的な仕事に就くための、あるいは新聞や専門書などを読んで理解するための、国際政治に関する基礎的な知識を学ぶ。</p>				
授業の達成目標				
<p>(1) 国際政治の導入的な知識を獲得し、授業で学んだ理論や概念の有効性と限界を理解できる (2) 世界で起きていることについて、ニュースで見たり新聞で読んだりした事柄に関して自分なりの説明ができる (3) グローバル化した世界における現状と課題を理解できる (4) 自分の意見を述べられる発信力を持つ (5) 物事の見方は一つではないことを理解し、自分とは異なる意見も理解できる</p>				
成績評価方法				
<p>期末レポート60%(一次提出10%、最終提出50%)、リアクションペーパー(授業内課題)30%、授業での意見表明(クラスへの貢献)10%(質問や議論に対して積極的に意見を述べた学生はクラスに貢献したとみなし、成績評価に加味する)。レポートは12月に一度提出し、その後修正したものを1月に最終的に提出する。</p>				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>講義では単に座って聞いているだけでなく、私からみなさんに色々な問題提起や質問を行っていくので積極的な発言を期待する。翌週のディスカッショントピックを知らせるので予め自分の意見を考えてくること。授業ではそれ以外にもみなさんに色々な質問をするので、ニュースを見たり新聞を読んだりして世界情勢について予めある程度情報を得ておいてほしい。 毎度授業の終わりにリアクションペーパーにその日のトピックについて自分の意見を400字程度で書いてもらう。本授業では自分の意見を授業の中で積極的に発信することを重視する。</p>				
テキスト・参考書				
<p>教科書は指定しない。 授業全体に関わる参考書として下記を挙げておく。各トピックに関するものは授業内で都度紹介する。 藤原帰一『国際政治』放送大学教育振興会、2007年。 大芝亮・藤原帰一・山田哲也編『平和政策』有斐閣、2006年。 ジョセフ・ナイ・デイヴィッド・ウェルチ『国際紛争』第9版、2013年。 吉川直人・野口和彦編『国際関係理論』第2版、勁草書房、2015年。</p>				
オフィスアワー				
毎週木曜5限とするが、ゼミや会議などで変更が必要になった場合には授業の中で通知する				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
リアクションペーパーにおける質問等に次回の授業でコメントする。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	玉村 健志	<p>ガイダンス:なぜ国際政治を学ぶのか 国際政治学とは何を学ぶ学問なのか、その意義は何なのかみなさんと共に考えつつ、この講義の概要を説明する。また、皆さんの関心のあるテーマを話してもらう。</p>	<p>予習:シラバスをよく読み、国際政治について関心のあることを考えてくる(90分) 復習:国際政治学をなぜ学ぶのか自分なりの意見を書く(リアクションペーパー)(90分)</p>	
		グローバル化された世界		

2	玉村 健志	グローバル化とは何か、いつ始まり何をもたらしているのか、様々な議論やデータを紹介しつつ、現行のグローバル化とは別の道の可能性についても検討する。	予習: グローバル化とは何か、自分の考えをまとめてくる(90分) 復習: グローバル化のメリットとデメリットについて自分なりの考えを書く(90分)
3	玉村 健志	国際政治の性質①: 「リアリズム」における国際政治観 戦争は不可避かをテーマに、国家は国益に基づく利己的な行動を執り、国益を極大化しようとするがうえに紛争は避けがたいとする「リアリズム」の有効性と限界を考察する。	予習: 戦争は不可避なのか、自分の意見を考えてくる(90分) 復習: リアリズムの理論が当てはまる具体的な事例を探して書く(90分)
4	玉村 健志	国際政治の性質②: 「リベラリズム」における国際政治観 国際政治の性質を不変とする「リアリズム」の思考の枠組みに反駁する議論を紹介し、中でも相互依存が国際政治において果たす役割を考える。	予習: リアリズムの理論では説明の難しい事例を考えてくる(90分) 復習: リベラリズムの理論が当てはまる具体的な事例を探して書く(90分)
5	玉村 健志	主権国家体系と国家の役割 現代の国際関係において中心的な主体だと考えられている主権国家とその体系について、意味、成立の過程、変容などを考察する。	予習: 主権とは何かを調べてくる(90分) 復習: 主権国家の役割とその変容について自分の考えを書く(90分)
6	玉村 健志	力による「平和」: 抑止と集団安全保障 ニュースでしばしば耳にする抑止や集団安全保障とはどのような概念なのか、類似する勢力均衡や同盟などの概念とはどのような関係にあるのかを学ぶ。	予習: 「抑止」とは何か、何をどう「抑止」するのか、自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 「抑止」概念の有効性と限界について自分なりの見方を書く(90分)
7	玉村 健志	世界政府なき秩序～国際レジームと規範 国際制度が国家の行動や国家間関係に与える影響について考えるとともに、規範の役割に着目するコンストラクティビズムの考え方を学ぶ。	予習: 世界政府の存在しない国際関係において秩序は存在するか、自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 国際制度はどのような役割を果たしているのか具体例を挙げる(90分)
8	玉村 健志	国際機構 国際機構は誰にとってなぜ必要なのか、そもそも国際機構とは何か、どのように誕生したのかなど、国際機構に関する導入的な知識を学ぶ。	予習: 国際組織はなぜ必要か(不要ならなぜ不要か)自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 国際組織は誰にとってどのような場面で必要か/不要か、自分の意見を書く(90分)
9	玉村 健志	国際連合 国連は何をしているところか。どのように物事が決まり、それにどの程度の意味合いがあるのか。国際連合と関連する国際機関についての基礎知識を学ぶ	予習: 国連は何のためにあるのか、なぜ必要か(あるいは不要か)自分の意見を考えてくる(90分) 復習: 国連の活動の意義と課題について自分の意見を書く(90分)
10	玉村 健志	アイデンティティの政治 「民族」やエスニシティなどのアイデンティティが対立や紛争など、国際政治に与える影響を検討する	予習: 「民族」とは何かについて考えてくる(90分) 復習: なぜ民族やエスニシティが紛争に結びつくのか自分の意見を述べる(90分)
		EUと国際統合論 ヨーロッパで起きている統合現象を捉えるとともに、EUの仕組み、EU内における	予習: ヨーロッパにおける国家間関係や交流は他の地域とどう異なっているのか、考えてくる(90分)

2020/02/26(水)15:22

授業科目名	国際関係とボランティア		授業形態	講義
英語科目名	International Relations and Volunteering		開講学期	前期
対象学年	4		単位数	2
科目責任者	鎗内 美奈		ナンバリング	4114
科目担当者	鎗内 美奈			
授業の概要	<p>現代の国際社会では、各国家の開発・発展のための課題だけでなく、環境や食料、貧困削減や平和構築といった世界規模の課題への対応も必要となっている。こうした課題を解決するために実施されている国際協力は、学生生活においてあまり身近に感じられないが、ボランティアなどを通して学生も積極的な参加ができ、また関係する職業への就職も選択可能な分野であるとともに、生涯、社会の構成員として貢献することが可能である。本講義は、受講生の社会参加やキャリア形成のヒントとなることを目指し、まず国際協力の概要について理解を深め、受講生が国際協力に携わる機会としてのボランティアを中心に、事例を多く取り上げ多角的に議論を進め、グループワークを通じて、相互に学ぶことを目指す。</p>			
授業の達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際協力の概要とボランティアの位置づけ、枠組みについて理解する。 2. 社会の構成員として国際貢献や社会貢献をするために、これらの事業の選定や評価が適切にできるようになる。 3. グループ活動を通して、課題について共に考え、議論を交わし、学び合う能力を高める。 			
成績評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成績評価方法 出席 (20%)、授業での貢献度・積極性 (30%)、レポート2回・ポスター発表 (50%)。 全授業回数の3分の2以上の出席を評価の前提条件とする。 2. 成績評価基準 ・ 関心のある分野でのボランティア・国際貢献活動について情報を整理し、評価視点に沿って評価できるようになる。 ・ グループ活動の課題について、グループとしての意見を取りまとめることができる。 			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国際協力やボランティアに関心のある学生を対象とします。経験の有無は問いません。 ・ 受講希望者は、事前にシラバスをよく読み、どのような授業かを十分理解し、納得した上で履修を決めてください。 ・ 受講生の関心に沿った内容・事例の紹介を想定しますので、積極的に意見を述べてください。 ・ 授業は講義とグループでのディスカッションを中心に進めますので、「ただ座って聞いている」のではなく、積極的に意見を出し、グループでの意見のとりまとめに貢献する姿勢を求めます。 ・ クラスの状況や要望により講義計画が一部変更されることがあります。 			
テキスト・参考書	テキスト: 使用しない。適宜資料を配布する。			
オフィスアワー	随時、電子メール (Yariuchi.Mina@friends.jica.go.jp) で質問を受け付ける。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	JUNTENDO-PASSPORT のクロスプロフィール機能を使用して行う。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	鎗内 美奈	初回ガイダンス 国際協力とは: 国際協力とは何か、開発、開発途上国、国際協力の目的について理解する。具体的な活動をイメージするため、事例を通して考える。	[予習]シラバスをよく読み、授業を履修する場合の自らの目標について考えてくる。国際協力・ボランティアに対する自らの姿勢を振り返るとともに、日ごろ感じていることや疑問点について整理しておく。(90分) [復習]授業内容・配布資料の復習(90分)	
2	鎗内 美奈	国際協力は何を解決するか? 開発途上国の抱える課題、貧困について、またこれらの解決を目指すSDGsについて理解するとともに、途上国の課題を示すデータの事例から、そのデータが示す状況について考える。	[予習]前回講義を踏まえ、貧困・豊かさについて考えをまとめておく(90分) [復習]授業内容・配布資料の復習(90分)	

3	鎗内 美奈	国際協力のアプローチ (1) 国際開発が目指す状態と、その解決のためにどのような活動が実際に求められるのか、事例をグループで議論し、論点を整理する。	[予習] 前回議論をもとに、国際協力の目的、途上国が目指す状態について考えをまとめておく(90分) [復習] 授業内容・配布資料の復習(90分)
4	鎗内 美奈	国際協力のアプローチ(2): 課題とジレンマ 格差拡大、環境社会配慮、ジェンダー配慮など、開発協力による負のインパクトの可能性について、事例を通して学ぶ。また、グループでプロジェクトの事例を評価することで、評価視点について理解を深める。	[予習] 途上国で支援をする時に起こりうる課題について考え、意見をまとめておく(90分) [復習] 授業内容に関して出される課題(仮: 寄付型クラウド・ファンディング・プロジェクトから関心のある事業を選び、視点に沿って評価する)(90分)
5	鎗内 美奈	国際協力のアクター (1) A) 国連、国際機関、B) 政府が実施する国際協力について理解し、代表的なプロジェクトの事例をグループで調べ、評価を通して、プロジェクトの効果を評価する視点について理解を深める。	[予習] 国際協力を実施している国内の機関について事前に調べ整理しておく(90分) [復習] 授業内容・配布資料の復習(90分)
6	鎗内 美奈	国際協力のアクター (2) C) NGO、D) 企業、E) 個人が担う国際協力について理解し、各アクターの国際協力の活動の特徴を比較し、強み・課題を理解する。	[予習] 前回講義を基に、国際協力のアクター別の特徴を表に整理しておく(90分) [復習] 授業内容・配布資料の復習(90分)
7	鎗内 美奈	ボランティアとは ボランティアの定義、ボランティアの受け入れ団体、ボランティア支援の公的機関と参加環境などについて、データを基に、ボランティア活動の論点を整理する。	[予習] 「ボランティアとは？」に対する自分の意見を整理しておく(90分) [復習] グループ・ワークでの議論の内容を復習し、議論の論理的な構成をよく理解する(90分)
8	鎗内 美奈	現場に必要なスキル (1) SWOT分析 (ワークショップ形式) グループ議論を通じて、戦略策定のための分析手法を体験し、理解する。立案された内容の妥当性を評価し、プロジェクト評価の視点について理解を深める。	[予習] ワークショップで議論する事例に関する配布資料を読んで、自分の意見を整理しておく(90分) [復習] レポート: 立案されたプロジェクト群から1つプロジェクトを選び、自立発展性、インパクトを高めるために考えられる工夫を論じる(90分)
9	鎗内 美奈	国際協力ボランティア 国際協力におけるボランティアの役割の変遷と、参加者の意識の剥離について、課題を整理する。「される側」から見た国際協力ボランティアの事例を通して、ボランティア参加時の留意点について理解を深める。	[予習] 関心のある分野の国際協力ボランティアについて情報を収集しておく(90分) [復習] 講義内容を元に、ボランティアによる国際協力の強み・問題点を整理する(90分)
10	鎗内 美奈	NGOとボランティア 日本の国際協力NGOの概要を理解し、実際のNGOの活動についてグループで情報収集することで理解を深める。	[予習] 関心のある分野の日本のNGOについて情報収集・整理しておく(90分) [復習] 授業内容・配布資料の復習(90分)
11	鎗内 美奈	現場に必要なスキル (2): 参加型のプロジェクト形成手法(ワークショップ形式) グループワークを通してプロジェクト形成時の当事者参加型のワークショップを体験する。関係者の情報を整理し、現状の課題を論理的に分析する手法を学ぶ。	[予習] ワークショップで議論する事例に関する配布資料を読んで、自分の意見を整理しておく(90分) [復習] 授業内容・配布資料の復習(90分)
		現場に必要なスキル (2)(継続)	

12	鎗内 美奈	第11回に続き、グループ作業を通して、現地の問題の分析、課題が解決された状態の分析、プロジェクトのアプローチ整理の手法を体験し、プロジェクト効果を高めるための視点について議論する。	[予習]ワークショップで議論する事例に関する配布資料を読んで、自分の意見を整理しておく(90分) [復習]グループ・ワークでの議論の内容を復習し、議論の論理的な構成をよく理解する(90分)
13	鎗内 美奈	国際協力ボランティア:青年海外協力隊 国際協力のボランティア制度について理解し、特に青年海外協力隊の概要を、事例を通して学ぶ。	[予習]自らの個性・経験・スキルを見直し、ボランティアに活かせる強みを整理しておく(90分) [復習]授業内容・配布資料の復習(90分)
14	鎗内 美奈	国際協力のプロ:仕事と働き方 国際協力を職業とするプロについて、国際協力全体の中で担う役割、具体的な業務や、そのために必要なキャリア開発について理解する	[予習]これまでの講義を踏まえ、国際協力を行う人材にとって必要と思われるスキル等について考え、意見をまとめておく(90分) [復習]授業内容・配布資料の復習(90分)
15	鎗内 美奈	まとめ:始めたい人のために 支援したいと考えるプロジェクトについて、各自ポスター発表を行う。グループ議論を通して国際貢献・ボランティアの第一歩としてプロジェクトの評価方法について理解を深める。また、初めて国際貢献・ボランティアを実施する場合の留意点、情報アクセスについて情報を得る。	[予習]これまでの講義内容を踏まえ、支援したいプロジェクトを選定し、内容・評価を各自ポスター発表できるよう準備をしておく(90分) [復習]発表内容について、他の受講者の発表内容や講義内容も参考にし、レポートとしてまとめ提出する(90分)

2020/02/25(火)16:00

授業科目名	国際救護論		授業形態	講義
英語科目名	International Relief		開講学期	前期
対象学年	4		単位数	1
科目責任者	市原 正行		ナンバリング	4115
科目担当者				
近藤 久禎、市原 正行、豊國 義樹、河嶌 譲、千島 佳也子、江津 繁、大野 龍男				
授業の概要				
国際社会において、救援が必要となる災害の特徴を知り、国際的な現状の対応体制の概要と課題を理解する。そのうえで、様々な様相を呈する災害時における被災者の健康課題をいかに解決するかを学ぶ。				
授業の達成目標				
(1)災害の定義、災害の種類、災害サイクル、災害に対する社会の仕組みについて述べる事ができる。 (2)被災者の心理・援助者の心理について説明できる。 (3)人道支援に関する最低基準の必要性を述べる事ができる。 (4)国際人道支援を行う際に必要な機関やそれらとの調整や連携について説明できる。 (5)人道支援を行う上で必要なロジスティクスについて理解する。 (6)自然災害における事例を通して実践を目指す事ができる。 (7)社会災害における事例を通して実践を目指す事ができる。				
成績評価方法				
1. 成績評価方法 課題レポート1題(40%)、定期試験(50%)、日々の学習状況(10%)を総合的に評価				
2. 成績評価基準 災害対応・人道支援の実施方法について説明することが出来るか				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
予習・復習の記入内容(WEB入力)を日々の学習状況の一部として評価するため、時間外学習も十分行うこと。				
テキスト・参考書				
1. テキスト 必要時、プリントを授業の際に配布する。				
2. 参考書 1)スフィア・ハンドブック 日本語版第4版 2018年 2)スフィア・ハンドブック 英語版第4版 2018年				
オフィスアワー				
授業前後に質問を受け付ける。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用して行う。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	市原 正行	災害対応概論と対応戦略 災害の定義、災害の種類、災害サイクル、災害に対する社会の仕組み、災害対応戦略について学ぶ。	【予習】不要。 【復習】授業内容をまとめてWEB入力する(90分)。	
2	河嶌 譲 千島 佳也子	PFA(Psychological First Aid) 被災者の心理・援助者の心理について学ぶ。	【予習】不要。 【復習】授業内容をまとめてWEB入力する(90分)。	
3	千島 佳也子	人道支援に関する国際基準① スフィアプロジェクトを踏まえた、人道支援に関する最低基準の必要性について学ぶ。	【予習】スフィアプロジェクトについて調べたことをWEB入力する(90分)。	
4	千島 佳也子	人道支援に関する国際基準② スフィアプロジェクトを踏まえた、人道支援に関する最低基準の必要性について	【復習】授業内容をまとめてWEB入力する(90分)。	

2020/04/16(木)11:01

授業科目名	国際組織論		授業形態	講義
英語科目名	International Organizations		開講学期	前期
対象学年	4		単位数	1
科目責任者	勝間 靖		ナンバリング	4117
科目担当者				
勝間 靖、千葉 美奈				
授業の概要				
国際社会における地球規模課題として、2030年までに達成すべき「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」に注目し、とくに目標3(SDG 3: すべての人に健康と福祉を)に焦点を絞って講義する。すべての人に健康と福祉をもたらすために国際協力を進める国際組織(政府間機構、トランスナショナルNGO、その他)について、それぞれの役割と活動の現状と課題を学習する。さらに、SDG 3の達成へ向けた日本による国際組織への貢献についても議論する。				
授業の達成目標				
1. 持続可能な開発目標3(SDG 3)について、その達成へ向けて国際協力を進める国際組織を説明することができる。 2. それぞれの国際組織について、その役割と活動の現状と課題を分析することができる。 3. SDG 3の達成へ向けた日本による国際組織への貢献について議論できる。				
成績評価方法				
1. 成績評価方法 課題レポート(60%)、講義前のリーディングと議論すべきポイントのJuntendo Passportでの提出(30%)、出席(10%)を統合して評価する。 2. 成績評価基準 持続可能な開発目標3(SDG 3)について、その達成へ向けて国際協力を進める国際組織を説明することができるか。 それぞれの国際組織について、その役割と活動の現状と課題を分析することができるか。 SDG 3の達成へ向けた日本による国際組織への貢献について議論できるか。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
第2回目以降、講義前にあらかじめ指定された文献を読み、議論すべきポイントをJuntendo Passportで提出すること。				
テキスト・参考書				
第1回目の講義において説明するが、毎回ごとに1章くらいの文献をリーディングとして課する。				
オフィスアワー				
授業の前後に質問を受ける。				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
JUNTENDO-PASSPORTのクロスプロフィール機能を使用しておこなう。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	勝間 靖	はじめに～持続可能な開発目標(SDG)の目標3と国際組織	予習:なし 復習:授業の振り返りを行うこと。この日に与えられた課題をJuntendo Passportで提出すること。(120分)	
2	勝間 靖	世界保健機関(WHO)～グローバルヘルス外交	予習:あらかじめ指定された文献を読み、議論すべきポイントをJuntendo Passportで提出してから出席すること。(120分) 復習:授業の振り返りを行うこと。(60分)	
3	千葉 美奈	国連児童基金(UNICEF)と子どもの健康	予習:あらかじめ指定された文献を読み、議論すべきポイントをJuntendo Passportで提出してから出席すること。(120分) 復習:授業の振り返りを行うこと。(60分)	
4	千葉 美奈	国連人口基金(UNFPA)とリプロダクティブ・ヘルス	予習:あらかじめ指定された文献を読み、議論すべきポイントをJuntendo Passportで提出してから出席すること。(120分) 復習:授業の振り返りを行うこと。(60分)	
5	勝間 靖	世界エイズ・結核・マラリア対策基金(GFATM)と保健開発援助(DAH)の動き	予習:あらかじめ指定された文献を読み、議論すべきポイントをJuntendo Passportで提出してから出席すること。(120分) 復習:授業の振り返りを行うこと。(60分)	
6	千葉 美奈	国連合同エイズ計画(UAIDS)と援助調整	予習:あらかじめ指定された文献を読み、議論すべきポイントをJuntendo Passportで提出してから出席すること。(120分) 復習:授業の振り返りを行うこと。(60分)	

2020/02/26(水)10:14

授業科目名	国際感染症		授業形態	講義
英語科目名	Communicative Diseases in the Global Era		開講学期	後期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	美田 敏宏		ナンバリング	4116
科目担当者	美田 敏宏			
授業の概要	<p>グローバル化の時代と言われるようになって久しい。国境を越え様々な人達が世界を気軽に移動する時代へと変化を遂げるにつれて感染症も国境を越えて伝染し、危機管理としてのグローバルな感染症対策がクローズアップされてきている。本科目では開発途上国・熱帯地域で大きな問題となっているマラリア・デング熱・コレラなどの熱帯感染症について理解し、各国及び国際機関が地球規模でどのような制圧・根絶活動を実施しているか、また、日本国内への病原体流入をどのように防いでいるかについて学習する。</p>			
授業の達成目標	<p>1. 開発途上国で安全に生活するために必要な最低限の旅行医学について理解する。 2. 熱帯地域に特有な感染症、それらがまん延化する要因並びにグローバルな対策について理解する。 3. 日本国内への熱帯病流入防止対策について理解する。</p>			
成績評価方法	<p>出席点(3点/回)、発表点(40点満点) + 授業態度(質問・発言)(3点満点/日) + 講義終了時レポート(18点満点) 日常点を重視し、試験での評価は実施しない。</p>			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)	<p>第1回:概論と講義ガイダンス 第1回目の講義では、各学生へのプレゼンテーマ、グループ分けを実施するため出席が必須である。 第2回～第7回:Active learning形式 授業の前半は学生の発表とディスカッション、後半は教官からの補講とフィードバック。最後にレポート課題を配布する。学生は6回の授業中に最低1回10分程度の発表機会がある。発表テーマは第1回目の講義で学生一人ずつ決定され、担当教官と打ち合わせながら発表準備を進める。 第8回:通常の講義形式</p>			
テキスト・参考書	<p>Manson's Tropical Diseases CDC Health Information for International Travel (commonly called the Yellow Book) WHO、CDC、厚生労働省、外務省のwebsites</p>			
オフィスアワー	<p>月曜日、火曜日(12時~13時)</p>			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法	<p>レポートの提出締切は、次回の講義時間の開始時である(例:2回目講義時のレポートの提出締切は、3回目の講義時に3回目担当の教員が回収を受け付ける時点となる。その時点を超過して提出されたレポートは原則受付不可)。あらかじめレポート回収時に出席できないことが判明している場合は締め切り以前に教務へ提出すること。</p>			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	美田 敏宏 及び講座スタッフ	<p>国際感染症概論、講義ガイダンス</p> <p>この第1回の講義で、学生一人ずつ発表テーマを決めるので原則として出席必須とする。テーマが未定のまま3回目からの出席は不可とする。</p>	<p>予習:国際感染症の与える様々なインパクト(医療保健、教育、社会経済)について調べる(90分)。 復習:授業の振り返りを行うこと(90分)</p>	
			<p>Active learning形式 予習:ガイダンスで提示するマラリアについて、原因、症状、予防に</p>	

2020/04/16(木)11:02

授業科目名	地域社会と健康		授業形態	講義
英語科目名	Community Health		開講学期	前期
対象学年	3		単位数	2
科目責任者	湯浅 資之		ナンバリング	4119
科目担当者				
湯浅資之、白山芳久、他				
授業の概要				
<p>本講座は、開発途上国におけるグローバルヘルスの「各論」に相当する科目です。</p> <p>世界の人々の健康課題や健康格差に対して、具体的にどのような対策を行っているかについて学びます。開発から取り残されてしまった貧困層や少数者を対象として、国際機関や2国間援助機関、NGOなどが各健康問題に対してどのような戦略を立て、対策を実施しているのか理解を深めます。</p> <p>前半では、各対策の概要を学び、後半では実際の現場でどのように実践され、またどのような課題が生じているのかについて、国際的な現場で働く実践家に登壇してもらい、臨場感あふれる講義を展開してもらいます。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 貧困者や少数者に対する保健医療対策の全体像を自分の言葉で説明できる。 2. 特に、母子保健・感染症・保健システム強化について対策の概要を説明できる。 3. 各対策における事例を挙げ、現状と課題について説明できる。 				
成績評価方法				
毎回単元毎の試験の成績(30%)、期末試験の成績(50%)と授業参加度(20%)から総合評価します。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
<p>本科目は、グローバルヘルスの総論を扱う「グローバルヘルスと健康」と同時に履修することが望ましいです。両科目を学習することで、本講座で学んだ内容の理解が一層深まることが期待できます。</p> <p>後半の「グローバルヘルスの実際」の授業には多忙な中で本講義にご出席くださる外部講師が多いので、失礼のない授業態度で臨むこと。</p>				
テキスト・参考書				
日本国際保健医療学会編「国際保健医療学 第3版」杏林書院出版をテキストとして使用するので、事前に購入しておいてください。				
オフィスアワー				
<p>湯浅資之:月曜日～水曜日の13:00～17:00</p> <p>白山芳久:木曜日～金曜日の13:00～17:00</p> <p>(外部講師の場合には授業の前後とする。)</p>				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業内で適宜返却します。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	湯浅 資之	世界の人々の健康対策の全体像を知り、各論の位置づけを理解する	<p>【予習】テキスト『国際保健医療学 第3版』の「3つの序論」および「目次」に目を通し、グローバルヘルス(国際保健医療)はどのような項目から構成されているか理解しておくこと(90分)</p> <p>【復習】授業の振り返りを行うこと(90分)</p>	
2	湯浅 資之	JICA「いつか世界を変える力になる」映画鑑賞	<p>【予習】JICA青年海外協力隊について調べておく(90分)</p> <p>【復習】授業の振り返りを行うこと(90分)</p>	
3	湯浅 資之	世界の母親と子どもの健康	<p>【予習】テキスト『国際保健医療学 第3版』の「母子保健・新生児保健・小児保健」(P.117～)の項を読んでおくこと(90分)</p> <p>【復習】授業の振り返りを行うこと(90分)</p>	
4	湯浅 資之、西田 良子	リプロダクティブヘルス・ライツ(性と生殖に関する健康とその権利)	<p>【予習】テキスト『国際保健医療学 第3版』の「リプロダクティブヘルス、人口と家族計画」(P.113～)の項を読んでおくこと(90分)</p> <p>【復習】授業の振り返りを行うこと(90分)</p>	
5	湯浅 資之	学校における保健活動とたばこ対策	<p>【予習】テキスト『国際保健医療学 第3版』の「学校保健」(P.160～)および「たばこ対策」(P.141～)の項を読んでおくこと(90分)</p> <p>【復習】授業の振り返りを行うこと(90分)</p>	
			<p>【予習】テキスト『国際保健医療学 第3版』の「新興・再興感染症」(P.150～)および「エイズ」(P.163～)および「結核」(P.167～)の項</p>	

2020/02/26(水)14:51

授業科目名	国際社会間の移動と健康	授業形態	講義
英語科目名	Migration and Health in the Global Era	開講学期	前期
対象学年	3	単位数	2
科目責任者	金川 修造	ナンバリング	4118
科目担当者			
金川 修造(実務経験有り)、李 節子(実務経験有り)、南谷 かおり(実務経験有り)、山本 裕子(実務経験有り)、李 錦純(実務経験有り)			
授業の概要			
年間1,800万人の日本人が出国すると同時に、訪日外国人は年間3000万人、今や世界190ヶ国以上、250万人以上の人々が日本で暮らすようになっており、現代日本はまさに国境を越えたグローバル社会になっている。邦人の渡航先での安全確保や健康保持は重要な課題であることから、渡航前と帰国後の活動、渡航中の安全確保、さらには新興・再興感染症の流行に対する体制整備や対策について学習する。日本に暮らす外国人や観光等で日本を訪れる外国人の現状を知り、さまざまな国や地域、文化の多様性を理解し、人々の生活と健康課題およびその対策について学ぶことを通じて、異文化理解と人間観を深める機会とする。			
授業の達成目標			
(渡航医学／金川) 経済のグローバル化並びに移動手段の発達や各国の観光開発などの影響で仕事や観光のために海外へ渡航する邦人の数は1800万人余、海外から来日する人は2000万人を超えると報告されている。一方、国境を越えて移動する場合の健康障害としては地域特有の感染症や環境の変化に伴う体調不良など注意すべき疾患は少なくない。国際的な活動に伴い保健医療上の問題に対して適切な対応を行うことを目指した医学が渡航医学であり、対象とする保健衛生上の問題は幅広い分野にわたっている。特に輸入感染症や多剤耐性菌の侵入あるいは新興・再興感染症対策などは海外からの帰国者や来訪者に対する対応であり、渡航前の対策としてはワクチン接種、疾患予防対策や渡航前の健康診断などが重要な活動となっている。海外の医療事情を考慮して、国際的な活動を行う人々の健康管理は如何にあるべきかについて理解すること授業の目的となる。			
(在日・訪日外国人の社会と健康／李) 1. グローバル化した日本社会の現状を知る。 2. 多文化共生社会のあり方について理解する。 3. 日本に暮らす外国人や観光等で日本を訪れる外国人の現状を知り、さまざまな国や地域、文化の多様性を知る。 4. 在日外国人の健康課題とその支援・対策について学ぶ。			
成績評価方法			
(渡航医学／金川) 出席(25%)、授業への貢献度(25%)、期末課題の点数(50%) テスト形式による理解度のチェックを授業開始前と終了後に行う。 授業自体はできるだけ討論形式で行い、受講者の発言による問題提起から現状の確認と今後の対応について議論する形式をとるため発言などによる貢献度、授業に対する参加その準備などを評価に加える。			
(在日・訪日外国人の社会と健康／李) 授業への出席(40%)、受講態度/ディスカッションへの参加(20%)、小テスト(40%)			
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)			
(渡航医学／金川) 授業に関連する文献やテキストなどを読み情報を得ておくこと。 また、積極的な発言を求める。			
(在日・訪日外国人の社会と健康／李) テキストは事前に予習し、最終授業までに読破、また、毎回の授業に持参すること。テキストを用いた授業展開を行う。出席状況・授業態度を重視する。各担当の授業で小テストを行う。			
テキスト・参考書			
(渡航医学／金川) グローバル感染症マニュアル 南江堂 感染症専門医テキスト 南江堂 CDC Health Information for International Travel 2016 CDC (Webで利用可能) Take Your Pediatrician with you Johns Hopkins Press Health Book Travel Medicien second edition Elsevier			
(在日・訪日外国人の社会と健康／李)			

テキスト:李節子編著:在日外国人の健康支援と医療通訳 誰一人取り残さないために、杏林書院、2018			
オフィスアワー			
授業終了後に教室で質問を受け付ける。			
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法			
各授業中にできるだけフィードバックする。			
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】			
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)
1	金川 修造	トラベルクリニックとは 国際協力とは 今後の講義の内容説明 40問のテスト	【予習】旅行医学の概要について自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】授業の内容の振り返りを行うこと。(90分)
2	金川 修造	旅行と健康障害の関連 ・歴史から見た旅行医学 ・なぜ健康障害が起こるのか	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】授業の内容の振り返りを行うこと。(90分)
3	金川 修造	国際的な移動時に注意すべき疾患 ・感染症(輸入感染症) ・非感染症	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】国際的移動時の疾患罹患状況に関するレポート(90分)
4	金川 修造	健康障害の予防措置 ・予防接種 ・定期予防接種の意味 ・キャッチアップ予防接種	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】授業の内容の振り返りを行うこと。(90分)
5	金川 修造	実習(ワクチン接種計画作成) 計画表の評価	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】想定国へ各自が渡航すると仮定したワクチン接種表の作成(90分)
6	金川 修造	新興・再興感染症とは どのような疾患か ・国際的な対応はどうか ・国内での対応はどうなっているか	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】授業の内容の振り返りを行うこと。(90分)
7	金川 修造	インバウンドの管理 ・留学生・労働者の健康管理で重要なこと ・国際的な人の移動に対して医療はどうあるべきか ・最終テスト	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分) 【復習】授業の内容の振り返りを行うこと。(90分)
8	李 節子	日本に暮らす外国人の歴史・社会について、在日外国人の人口の推移、国籍(出身地)・地域、在日コリアンの背景等について学ぶ。また、グローバル化した日本の現状を知り、多文化共生社会の定義、意義について学び、よりよい多文化共生社会のあり方を考察する。 日本における外国人の健康課題について、人口動態統計・健康指標から健康問題の理解を深め、健康支援のあり方とその対策を探る。子どもの国際化と母子保健の課題、在日外国人のコミュニティについて理解し、日本における多民族化・多様化の現状と課題を考察する。	【予習】授業内容テーマについて自分なりに調べておくこと。(90分)。 【復習】授業及び配布資料内容を振り返る(90分)。
		日本に暮らす外国人の歴史・社会について、在日外国人の人口の推移、国籍(出身地)・地域、在日コリアンの背景等について学ぶ。また、グローバル化した日本の現状を知り、多文化共生社会の	

2020/04/16(木)11:03

授業科目名	健康社会を築いた日本の歩み		授業形態	演習
英語科目名	Japan's Path to a Healthy Society		開講学期	後期
対象学年	3		単位数	1
科目責任者	湯浅 資之		ナンバリング	4120
科目担当者				
湯浅 資之、白山 芳久				
授業の概要				
<p>グローバルな舞台上で活躍するためには、日本が諸外国との関係の中でどのように健康社会を築いてきたのか知っておく必要があります。本科目のねらいは、主に第2次世界大戦以降に焦点を絞り、単に歴史を学ぶだけではなく、政策や草の根活動がどのように日本人の健康を向上させ、どのような日本の成功経験が現在のグローバル社会へ生かすことができるかを考える機会を提供することにあります。本科目は授業と演習を組み合わせて実施します。最初に、講義形式によって、日本の人口構造や疾病構造の変遷、急性感染症が蔓延していた時代から高齢化社会までの時代ごとテーマごとに、どのような保健医療活動や住民参加活動が展開されてきたのかを学びます。ついで、2班に分かれ、与えられた課題に対してディベートを行い、日本の経験をより深く理解することを目指します。</p>				
授業の達成目標				
<ol style="list-style-type: none"> 戦後の日本の代表的な健康指標(乳児死亡率、妊産婦死亡率、平均余命、等)の変遷について概説できる。 戦後日本に健康社会が築かれた要因について自分の意見を述べるができる。 日本の保健医療従事者の職種や役割について概説できる。 日本の地域保健を担う保健所と市町村保健センターの役割を説明できる。 日本の母子保健政策と予防接種政策について概説できる。 日本の結核対策について概説できる。 日本の社会保障政策について概説できる。 ディベートのやり方を説明できる。 長野県佐久総合病院や岩手県旧沢内村の活動とその成果について説明できる。 				
成績評価方法				
授業・演習参加度(40%)とディベート評価票の提出(60%)から総合評価します。				
履修上の注意(受講条件・受講に当たって学生に望むこと)				
諸外国の人々の多くが、戦後の短期間に日本が健康社会を築いたことに関して大きな関心を持っています。そうした人たちに日本の経験や制度・政策について英語で説明できるように、講義で学んだことを英語にしてみる自主練習することをお勧めします。				
テキスト・参考書				
日本の保健医療を概観する参考資料として『厚生省の指標増刊 国民衛生の動向』厚生労働統計協会発行の最新版を薦めます。他に必要資料は講義中に配付します。				
オフィスアワー				
湯浅資之: 月曜日～水曜日の13:00～17:00 白山芳久: 木曜日～金曜日の13:00～17:00				
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法				
授業・演習時間内に適宜返却します。				
授業計画【授業内容と授業時間外の指導等】				
授業回数	担当	授業内容	授業時間外の指導等(予習、復習レポート等課題の指示)	
1	湯浅 資之	戦後なぜ日本は劇的に健康改善を達成できたのか?	【予習】諸外国に比べ、なぜ戦後の日本は急激に健康社会を築くことができたのか、その理由を自分なりに整理して授業に臨むこと(90分) 【復習】授業で学んだことを整理しておくこと(90分)	
2	湯浅 資之	健康社会を築いた日本の歩みの事例—長野県佐久総合病院と岩手県旧沢内村の活動とその成果	【予習】佐久総合病院と旧沢内村について事前に調べておくこと(90分) 【復習】佐久総合病院と旧沢内村の保健活動についておさらいしておくこと(90分)	
3	白山 芳久	ディベート入門(1)	【予習】ディベートとは何かについて事前に調べておくこと(90分) 【復習】授業で学んだことを整理しておくこと(90分)	
4	白山 芳久	ディベート入門(2)	【予習】ディベートとは何かについて事前に調べておくこと(90分) 【復習】ディベートのやり方をおさらいしておくこと(90分)	
			【予習】日本の地域保健制度と仕組みについて事前に調べておくこと	

